

マルチアクア据付説明書

型式：KMA02 -320-750

(高圧フットポンプ)



aqua reserve

この度は、弊社の製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。この据付説明書は、工事作業者が正しく、安全な工事を行うために必要な説明書です。工事開始前に必ずお読みください。

- 1.本書の記載事項に従って工事が行われなかったことが原因で生じた故障、事故などは保証期間内での無償修理の対象になりません。
- 2.保証書は、大切に保管してください。紛失してしまうと、保証期間内であっても無効となることがあります。
- 3.指定給水装置工事事業者が施工を行ってください。

株式会社アクアリザーブ

目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 安全に設置工事を行うために注意していただくこと | 1 |
| 2. 運搬・保管 | 1 |
| 3. 仕様 | 2 |
| 4. 付属部品 | 2 |
| 5. マルチアクアの据付 | 4 |
| 1) 貯水部 | 4 |
| 2) 加圧ユニット（高圧フットポンプ・エアホース） | 7 |
| 6. 試運転 | 9 |
| 7. 保証について | 10 |

1. 安全に据付工事を行うために注意していただくこと

● 注意とは…

据付作業、または使用者が誤った使い方をすると軽症を負う可能性、または製品・家屋等の物損事故を引き起こす可能性が想定できる注意内容です。



注意 CAUTION

高圧フットポンプ

- 足踏みペダルの留め金具を外す時は、ペダルが跳ね上がりますので、顔などを近づけないでください。
- 可動部に手や足を入れないでください。
- ご使用前に、必ずシリンダーキャップが外れたり緩んだりしていないか確認してください。
- 直射日光が当たる場所、湿気やホコリの多い場所などでは保管しないでください。
- 周りに障害物等がない場所で使用してください。
- 平らな床面上で使用してください。
- フットポンプ使用時は、床材等へ傷を付けないよう、マット等をご準備いただいたうえでご使用ください。
- 無理な体勢でペダルを踏まないでください。
- 分解・改造して使用しないでください。

2. 運搬・保管

- 本製品は、衝撃を与えると内部の部材が損傷する可能性がありますので、取り扱いには十分注意してください。
- 本製品は、重量物（約 36kg）ですので、トラックの積み降ろしは、腰などを痛めないように複数人、または適切な機材を使用して行ってください。
- 本製品の表面はステンレスの管で構成されているため、たいへん滑りやすくなっています。滑り止め付きの手袋を着用して取り扱いをしてください。
- 本製品上に、絶対に乗らないでください。
- 保管は、水に濡れない屋内で保管してください。

3. 仕様

1) 貯水部

- 直径：320mm 全長：750mm
- 重量：約 36kg（乾燥重量） ※固定金具含む
- 貯水量：43L
- 貯水部材質：SUS304、塩化ビニール、専用チューブの三層構造
- 耐水圧：1.75Mpa（公益社団法人日本水道協会 指定耐水圧）
- 配管接続口径：20A Rネジ
- エアーホース接続口径：外径 6mm



4. 付属部品

貯水部以外に、以下の付属部品が含まれます。

1) 標準付属品

- 高圧フットポンプ（構成）



サイズ：幅 138×長さ 310×高さ 83 mm 使用时最大高 230 mm

本体重量：1.95 kg 最高圧力：約 1000 Kpa ホース長：700 mm

- 口金エア継手キャップ付 (1 個) (高圧フットポンプ用, 写真①)
- 6φエアホース 5m (写真①)
- リリーフ弁 (1 個) 作動圧力値 0.185~0.199Mpa (写真②)
- 圧空用ホース継手 (1 個) 貯水部接続用 (写真③)
- フィッティングプラグ (1 個) (写真④)



① エアホース、口金エア継手、キャップ



② リリーフ弁



③ 圧空用ホース継手



④ フィッティングプラグ

2) オプション部品

- 逆止弁 (1 個) (写真⑤)
- ニップル 20A (1 個) (写真⑥)



⑤ 逆止弁



⑥ ニップル

5. マルチアクアの据付

はじめに

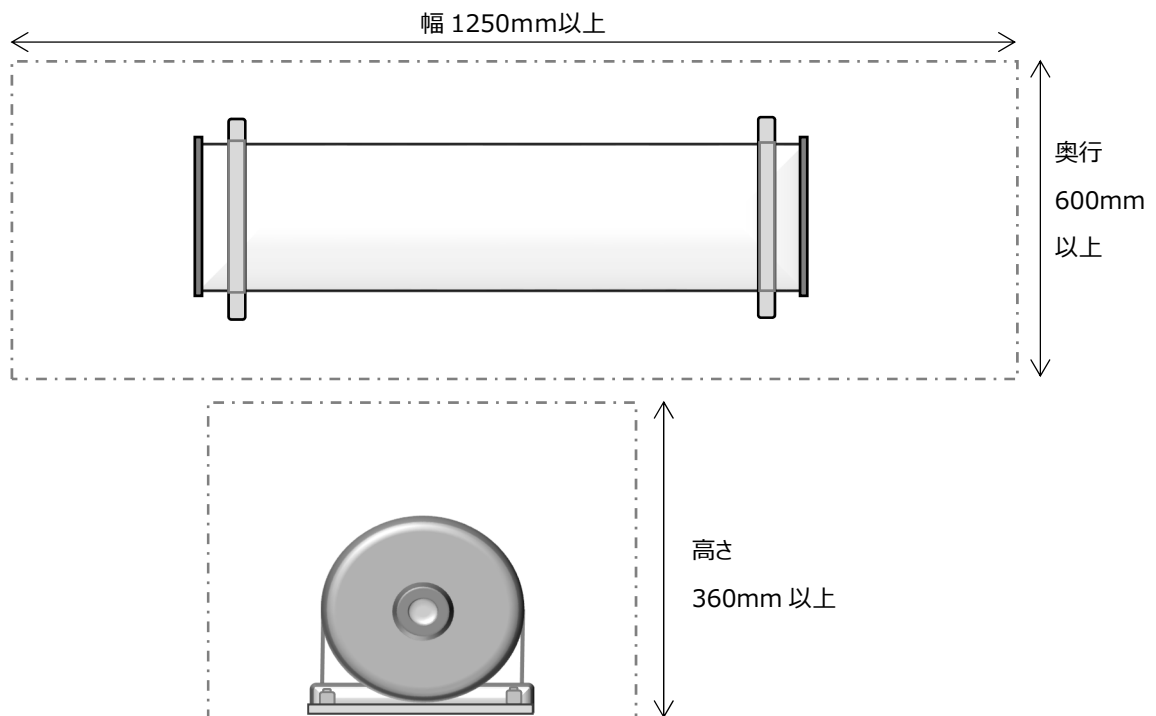
- 本システムは、戸建住宅用の貯水システムです。
- 水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- 井戸水・雨水等の使用はできません。
- 本製品は、住宅用で横置き 1 台での設置が前提となります。

1) 貯水部

(1) 据付場所の選定

本製品は、以下の注意点に従い、横置きで設置してください。

- 水道工事およびその付帯工事、保守が出来る場所であること。
- 貯水部は、量水器の二次側に設置すること。
- 貯水部は、一次側に水栓を設けないこと。
- 平坦な場所で、アンカーボルトが使用できるコンクリート床または、ボルトが使用できる鋼板床、ボルトスクリューが使用できる木製床。
- 水溜りができない場所。
- 製品の据付は、下記に示したスペースの確保を前提とした指定された場所、または確保できる場所であること。
- 床下設置の場合、600 mm×600 mmサイズ以上の点検口等があり、点検口等から製品へのアクセスが可能な場所であること。

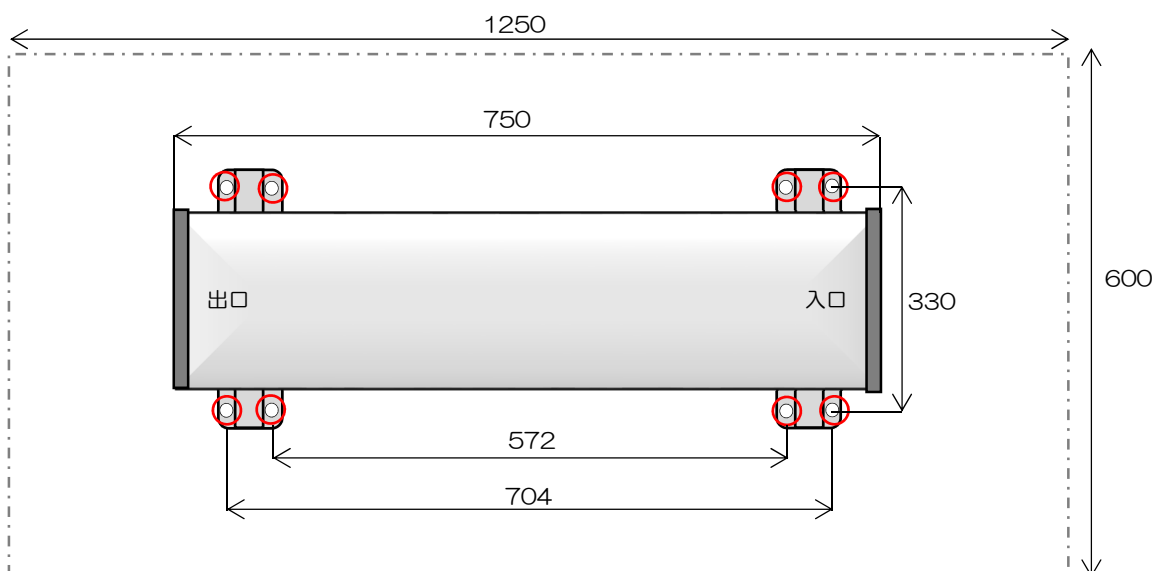


以下の場所には設置しないでください。

- 製品へのアクセス用の点検口・床下収納（600×600 mmサイズ以上）のない場所
- 水道水が凍結する場所（保温材による凍結防止は、要相談）
- 凸凹のある場所
- 傾斜勾配のある場所
- 雨に濡れる場所
- 塩害（海水）の影響を受けやすい場所

(2) 据付手順

- ① 以下の「据付配置図」に基づき、貯水部の据付位置出しを行ってください。



据付配置図

- ② 固定金具は入口側と出口側で高さが異なり、高い方が出口側です。
(入口側～出口側で傾斜がついています。)
- ③ 貯水部にあらかじめ取り付けられている固定金具 1 台につき、固定用の穴が 4 箇所あります。必ず両サイド 1 本ずつアンカーボルト又はボルト、ボルトスクリューを使用し、本体を固定してください。コンクリート床には M10×70～80mm (全長) のアンカーボルト、鋼板床には M10 ボルトで鋼板の厚みにあった長さのボルト、木製床には M8×45mm (全長) のボルトスクリューを使用してください。
- ④ リリーフ弁 (標準付属品 P3 写真②)
出口側の白色ポリ栓を外して、付属部品のリリーフ弁を 3/8 のネジ穴に取り付けてください。取り付け時の締め付けトルクは、12.5～14.5N・m の範囲で締め付けてください。また、シールテープ、シール材は、先端から 1.5～2 山残して巻く、または塗布してください。
P6「標準付属品及び逆止弁取り付け位置図」にてリリーフ弁の場所を確認してください。

⑤ 圧空用ホース継手（標準付属品 P3 写真③）

入口側の青色ポリ栓を外して、付属部品の圧空用ホース継手を 3/8 の穴に取り付けてください。取り付け時の締め付けトルクは、15～20N・m の範囲で締め付けてください。また、シールテープ、シール材は先端から 1.5～2 山残して巻く、または塗布してください。

「標準付属品及び逆止弁取付け位置図」にて圧空用ホース継手の場所を確認してください。



標準付属品及び逆止弁取付け位置図

(3) 水道配管について

① 逆止弁（オプション部品 P3 写真⑤）

貯水部入口の直近に、日本水道協会認証品の逆止弁を必ず設置してください。

（逆止弁が設置されていないと、断水時に加圧ユニットによる取水が出来ません。）

※「標準付属品及び逆止弁取付け位置図」にて逆止弁の場所を確認してください。

- ② 既設水道配管が鋼管等の腐食性のある配管をお使いの場合は、錆などの異物が貯水部に入り込むと正常に機能しない場合がありますので、必ず、ストレーナー付逆止弁もしくは逆止弁とストレーナーをセットで取り付けてください。
- ③ 水道配管への取り付け前に、切削油、切粉、異物をきれいに取り除いてから水道管へ接続してください。
- ④ 貯水部の出入口のネジ径は 20A になっていますが、接続する水道配管径が異なる場合は、異径のブッシングをご使用ください。（締め付けトルク 70N・m）
- ⑤ 水道配管に金属配管を使用する場合は、必ず耐震対策として、伸縮可とう管（フレキシブル等）を使用してください。
- ⑥ 水道配管の取り付け後は、必ず、締め忘れがないか確認してください。
* 配管、弁等の接続方法、締め込みトルクは使用する部品メーカーの基準に従って施工してください。

据付で注意してもらいたいこと

- 水道配管取り付け時は、ネジ部の損傷が無いようにしてください。
- 貯水部は、分解しないでください。
- 貯水部には、出入口の指定がありますので、正しい向きで設置してください。
(入口側：青色シール／出口側：黄色シール)
- 本体と接続ネジ部には、温度、流体に適したシール材を使用してください。
- 貯水部出入口（インナースリーブ真鍮）と、水道配管継手の締め込み時は、必ずサイズの合ったスパナ等の適切な工具を使用してください。パイプレンチを使用し、締め込んだり、緩めたりは絶対にしないでください。



インナースリーブ（真鍮）

2) 加圧ユニット（高圧フットポンプ・エアース）

(1) 高圧フットポンプの使用場所の選定とエアースの取り回し

高圧フットポンプの使用場所とエアースの取り回しは、以下の注意点に則り、お客様と協議のうえ、選定してください。

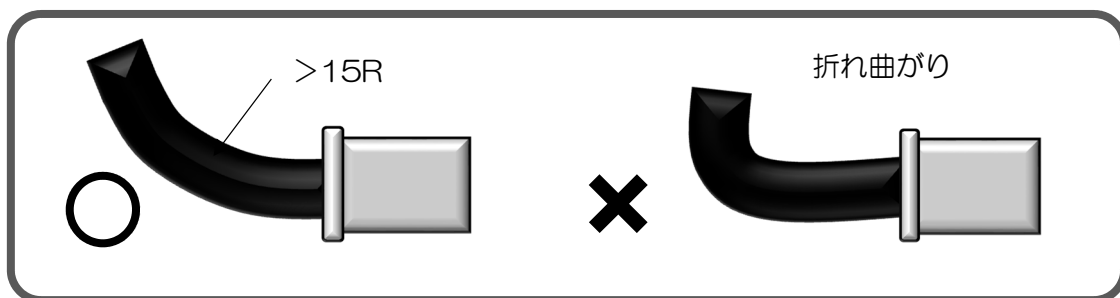
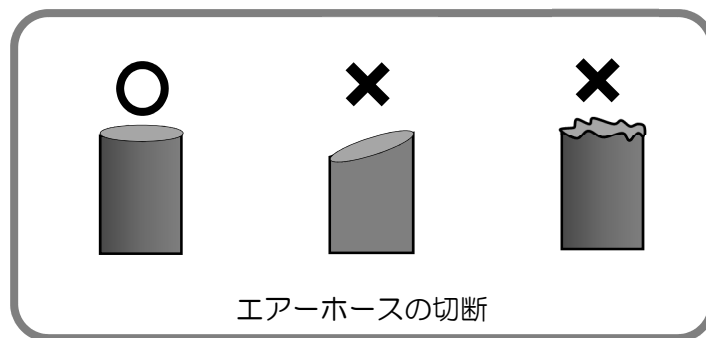
- 操作しやすい場所（推奨）。
(例：高圧フットポンプが容易に操作できる場所、明るい場所等)
- 直射日光のあたらない場所。
- エアース取り回し近辺に、熱発生源がない場所。
(エアースは熱によって変形、収縮が発生するため)
- エアースは、折れ、つぶれ、擦れの可能性がない場所。

(2) エアースの接続確認（標準付属品：5m）

- ① 口金エアース継手が装着されていない側のエアースの先端を、P6「標準付属品及び逆止弁取付け位置図」(2) - ⑤ の圧空用ホース継手にしっかり差し込んで接続してください。(P8 写真⑦参照)



- ※ 差し込み後、エア－ホースを軽く引っ張って、抜けなければ正しい差し込みです。
- ※ エア－ホースは最小曲げ半径が 15mm です。エア－ホースを長さ調整で切断するときには、必ずエア－ホース専用カッターを使用して、目視でまっすぐ（垂直）に切断してください。切断するときに、ニッパー・ペンチなどを使用しないでください。また、チューブ内に異物などが入らないように注意してください。



- ② エア－ホースの正しい差し込みが確認できたら、エア－ホースを圧空用ホース継手から抜いてください。（写真⑦）

6. 試運転

エア抜き（貯水部）

貯水部に水道水を注入すると、貯水部の専用チューブ内にエア（空気）溜まりが発生します。エア溜まりを除去しないと、貯水部の専用チューブ内にエア溜まりが残ったままになってしまい、取水流量が不安定になる、または水道水の水質が劣化する可能性があります。エア抜きは下記の手順で行います。この作業は、必ず、水道局の指定給水装置工事事業者の立会いのもとで行ってください。

- ① 止水栓（元栓）が閉まっている場合、止水栓（元栓）を開きます。

（参考写真③赤丸を参照）

（参考写真③）



- ② すべての取水口（蛇口等）が閉まっていることを確認してください。
- ③ 取水口（蛇口等）を開きます。
- ④ しばらくすると、③で開いた取水口（蛇口等）からエアを含んだ水道水がでてきます。

※エアを含んだ水道水の特徴は、ゴッゴッゴッと音が出て、水道水もその音に合わせて水量が変化します。

- ⑤ エア抜きが終わると、エアを含まない安定した水道水になります。
- ⑥ エアを含まない安定した水道水になってから、しばらく流水します。
（約 1～2 分程度）
- ⑦ 取水口（蛇口等）を閉じます。
- ⑧ 再度、取水口（蛇口等）を開いて安定した流水が出ることを確認してください。流水が安定しない場合は、エア抜きが適切に行われなかった可能性がありますので、以下の点を確認してください。

- 貯水部本体から、エアホース（口金エア継手付）を取り外してある。
- 取水口（蛇口等）が十分に開いている。

上記確認後、水量が不安定な場合は販売店、または弊社までご連絡ください。

- ⑨ エア抜き終了後、貯水部本体にエアホースを接続しない場合は、貯水部に取り付けた圧空用ホース継手に、フィッティングプラグ（P3 写真④）を差し込んでください。貯水部本体から取り外したエアホース等は、高圧フットポンプと一緒に、直射日光の当たらない、湿気やホコリの少ない場所で保管してください。

7. 保証について

- 保証書の記載内容を確認してください。
- 万が一、故障が発生した場合、保証書内容に該当する故障内容であれば、無償交換、修理の対象となります。
- 保証期間は、マルチアクア本体は5年、高圧フットポンプは1年です。

お問合せ先

株式会社アクアリザーブ

〒111-0051 東京都台東区蔵前1-5-1

TEL 03-5822-5310 FAX 03-5822-5355